

2020

ぶうげん

びりあ

6

月号

No.321

ホームページ <http://www.hahashouchu.ogasawara.ed.jp/>

未曾有 その3

副校長 中岡 理和

新型コロナウイルスの新規感染者が減少し、緊急事態宣言が解除となりました。先行きの見えない不安が少しだけ解消されてきました。しかし、感染拡大の第二波にどのように対応していくかなどまだまだ予断は許されません。本当の「終息」にはもう少し時間がかかりそうです。

「予測できない未来を子どもたちがたくましく生き抜く」ため、2020年から小学校、2021年からは中学校で新しい学習指導要領が全面実施されていきます。この新型コロナ禍で、あたりまえであったことが突然なくなり、準備なしに新しい生活を突き付けられる。それでも対応しなくてはならない疲労感を社会や学校に感じています。そうならないためにも学校教育では約10年をスパンに学習指導要領を改訂し準備を進めていました。しかし今回は間に合いませんでした。まさに不測の事態です。「予測できない未来に対応できる学校」が求められています。

学校の急激な変化の対応は簡単ではありません。密集・密着がNGとなれば子供たち同士が向かい合っただけの授業形態は難しくなります。また、今後再び臨時休校を求められた時のためにもオンライン授業の整備も必要となってきます。新しい授業形態にするのか、整備で対応するのか、どちらにしる「もの」・「金」が必要です。そしてそれを行う「人」にはスキルが必要となるので「時間」も必要となります。そのためには行事やカリキュラムの見直しが必要となってきます。

「前例踏襲」学校にはそのような風土が強いといわれています。それが悪いのではなく、「なぜするのか」「何が大切なのか」を問いながら踏襲することが大切であると感じています。新年度がようやく始まる学校もある中、本校は通常授業を開始して1カ月半が過ぎました。通常といっても多くの行事が延期・中止になり、校外学習などもできない等、不便なこともありました。5月の運動会練習をする子供たちの姿がないのには寂しさも感じました。しかし悪いことだけではありません。この期間、今までやってきたものを見直す契機となったこと、その時間があつたことは学校にとってプラスとなりました。再開後「いつ臨時休校になっても対応できる準備をする」を合言葉に授業を行っています。主体的に学習できるように。オンライン授業になっても対応できるように。この1カ月半、子供たちの姿を通して順調なスタートの手ごたえを感じています。

本校がこれまで無事に休校になることなく順調に教育活動が続けられているのも村の感染防止対策や児童・生徒の体調管理等、保護者の皆様のご協力のおかげだと思っています。感謝をするとともに今後も地域と共に「予測できない未来に対応できる学校」を目指します。

2年生としての成長を

小学校2年担任

学校がはじまり2か月。新しい担任、新しい教室にもすっかり慣れてきました。はじめての下級生である1年生が入学してからの2か月間。1年生のお世話を頑張ってくれました。学校の過ごし方を教えてあげたり、一緒に遊んであげたりする姿はとても頼もしかったです。顔つきが少しずつお兄さんお姉さんになってきたように感じます。

2年生は1年生の教室がお隣ということもあり、お世話をするだけでなく、1年生の成長を目の当たりにします。そんな1年生の成長に負けまいと、日々、学校生活に勉強にと一生懸命に取り組んでいます。2年生になって大切にして欲しいことがあります。それは、当たり前前を当たり前前にできるようにして欲しいことです。2年生になったからといって、「学校に来たら8時前に準備をする」、「字をていねいに書く」、「廊下は走らない」といった1年生でできていたことも今まで通り当たり前に行っていて欲しいです。そして、2年生としての当たり前前に出来ることを増やしていきます。

1年生での土台をもとに、2年生でより成長できるように頑張っていきます。

総合「アオウミガメを育てよう」

小学校4年担任

4年生に進級してから約2か月、例年とは大きく違った生活の中でも、笑顔で過ごす子供たちの姿があり、頼もしく感じます。4月から上学年の仲間入りをし、委員会やクラブ活動を通して、次第に上級生としての自覚も芽生え、下級生に優しくしようとする姿勢が育っています。

さて、4年生の総合の授業では、3年生と合同でアオウミガメの卵の移植、お世話、放流を行う予定です。そのため事前学習として、各自でパソコンを使い、アオウミガメについてのレポートを作成し、発表会を行いました。レポートはワードを使い、インターネットからウミガメについての情報を集め、自分なりに分かりやすくまとめました。

ワードの使い方やインターネットの検索方法が分からず苦戦する様子も見られましたが、それでも諦めずいろいろ試すことで、画像を添付したり、フォントの大きさや色を工夫したりすることができました。今後もオンライン授業など、パソコンを扱うスキルは大切になると思います。さまざまな教科で活用して、スキルアップを図っていきます。

中学校の第2学年では、毎年6月に「硫黄島訪島事業」があります。生徒は硫黄島に関する学習を通して、小笠原諸島の戦争の歴史、そして平和への理解を深めていきます。今年度の「硫黄島訪島事業」は中止となりましたが、現在、来年度の訪島に向けて事前学習を進めています。

授業では、初めにガイダンスを行いました。戦争について知っていることを尋ねたところ、広島・長崎での原爆投下や、母島に戦跡があることは多くの生徒が知っていました。しかし「75年前の戦争」や「硫黄島の戦い」については、具体的にはあまり知らないようでした。そこで、日本から小笠原、硫黄島へと徐々に焦点を絞りながら学習を進めていくことにしました。

「日本の戦争」については、「年表」「広島・長崎の原爆投下・沖縄戦」「戦時中の生活」のテーマについて班に分かれて調べました。資料を読んでいく中で、戦場での様子だけではなく、戦場には赴かなかった一般市民にも大きな影響があったことについて理解を深めていました。

「小笠原の戦争」については、戦争当時の小笠原を知るために、地域の方々の体験記や記念誌などを読みました。資料には身近な場所で起きたことや、生活していた場所を離れなければならなかった悲しみなどが詳細に、そして切々と綴られていました。その当時の方々の気持ちや生活を知ることで、今、自分達が生活している小笠原でも「75年前の戦争」では戦争の影響が色濃く表れ、当時の戦争は生活と隣り合わせで身近なものだったことを感じ取っていました。

硫黄島については地理・天候・自然について調べたり、「硫黄島の戦い」に従軍した方々の証言映像を視聴したりしました。戦争が終わった後、どれだけ時を経ても亡くなった方々のために祈り続ける様子が心に響いたようです。現在は「硫黄島の戦い」の中でも、当時の陣地や米軍の進攻、戦争の推移について、資料を見ながら時系列の表や白地図に記入してまとめています。

日本から小笠原、硫黄島へと徐々に焦点を絞りながら進めてきた学習では、皆で情報を共有しながら活動しました。資料を調べたりまとめたりするテーマも、事前に決まっていた。これからの学習では、自分でテーマを決め、テーマについて自分で探求していく学習に移行していきます。難しい作業ですが、これまでの学習内容を踏まえて自分を感じ取ったことや、発展的に調べてみたいことを、「今、母島で生きている自分達」の視点からまとめていくこととなります。

また、学習と同時に「千羽鶴」の作成も進めています。作成を始めた当初、鶴の折り方を知っている生徒は、ほとんどいませんでした。折り始めた当初は1人ではなかなか最後まで折ることができませんでした。折り紙が苦手な生徒も休み時間を利用して少しずつ習得して、今では黙々と折る姿をよく見かけるようになりました。最近の休み時間や昼休みの教室は、本当に静寂に包まれています。感心するのは、登校してからすぐ折り始めたり、わずかな時間でも無駄にせずにコツコツと折る生徒が多いことです。千羽に到達するまで、長い長い道のりですが、たった1羽でさえも心を込めて折る様子は、平和を願って捧げるにふさわしい鶴だと実感しています。

硫黄島に関する学習を始めてから、生徒がひと回り大きくなったように感じます。自分達を中心とした世界から、より広い視点で周囲を見て、深く考えることができるようになりつつあります。今回の学習では、硫黄島の学習を通して平和について考えることが中心です。学習を進めていく中で、戦争当時と現在との雰囲気と比較して、何かを感じ取るかもしれません。しかし、この学習を通して「自分自身の生き方」や「より良い社会を築くために自分には何ができるのか」ということについて真剣に考えることもできます。それは「自分がこれからどのように生きていくのか」という道標を見つけていくことにも繋がります。皆が「自分と社会との繋がり」を大切にす



6月の生活指導

生活目標

「学習に真剣に取り組もう」

- ・ 苦手な教科や分からないことにも挑戦しよう。
- ・ 計画的に学習に取り組もう。
- ・ 家庭での学習を習慣にしよう。

安全指導 1日(月)

「雨の日の過ごし方」が重点指導目標です。雨が続く時期は、湿気が多く、廊下がとても滑りやすくなります。また、体育館で遊ぶことや図書室の利用が多くなります。安全に学校生活を送るための生活の仕方を考えさせ、実践させていきます。

避難訓練 3日(水)

大地震・津波を想定しての引き渡し訓練

6月3日に大地震・津波を想定しての避難訓練を行います。地震発生後、津波に備えて避難所まで避難します。そして、保護者への引き渡しを行います。地震発生時の基本的な避難行動や、避難経路の確認、正しい避難の方法を知ることがねらいとして行っていきます。

当日に一斉メールで引き渡し場所等のご連絡を送信いたします。よろしくお願いいたします。

水泳指導について

今年度は水不足の心配もなく当初の予定通りに開始いたします。現在は、プール清掃や入水など、施設の準備を整えているところです。

ご家庭でも、体調管理や持ち物の準備等、円滑に学習が進められますようご配慮をよろしくお願いいたします。詳細は、水泳指導開始のお知らせ、各学年だよりをご覧ください。

プール開き(水泳指導始め)
6月15日(月)



学校施設の使用中止延長について

6月もまた村有施設の一般利用中止の期間延長を受けました。学校施設も6月30日まで一般利用中止延長となりました。再開時期が確定次第、ご連絡いたします。また再開次第、考えていました代表者会議の開催もまた未定となりました。開催日時等は代表者にあらためてご連絡させていただきます。ご不便をおかけいたしますがご理解のほどよろしくお願いいたします。

6月の主な行事予定

6月の主な行事予定			16	火	
1	月	安全指導 SC 在島(～3日まで)	17	水	
2	火		18	木	
3	水	避難訓練(引き渡し訓練)	19	金	漢字検定
4	木	体力テスト	20	土	
5	金		21	日	
6	土		22	月	中朝礼
7	日		23	火	ブラッシング指導(小)
8	月	保健指導 プール前検診	24	水	期末考査(中)
9	火		25	木	期末考査(中)
10	水	尿検査	26	金	期末考査(中) 心肺蘇生法講習会(中)
11	木	心臓検診	27	土	
12	金		28	日	
13	土		29	月	
14	日		30	火	村内清掃
15	月	水泳指導開始			